

施策8	こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(地域教育課)
		関係部長(課)	地域振興部長(青少年課)、こども未来部長(こども家庭支援課)、教育委員会事務局次長(庶務課)

1 施策目標

江東区の目指す姿										
地域住民・団体と区が一体となり、こどもの安全・安心な居場所・環境を構築することにより、こどもたちが健やかに成長しています。										
施策実現に関する指標(代表指標)										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東きッズクラブ利用児童の満足度		%	87.1	90.5	89.0	90.7	88.7		92	地域教育課
指標選定理由		放課後の安心で健やかな居場所の確保に向けた区の取り組み状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆保護者アンケートにおいて、江東きッズクラブ利用児童の満足度は、平成30年度から令和2年度まで対前年比で3ポイント程度上昇している。5年度は減少に転じたが、依然として高い水準で推移している。 ◆2年度から入退室管理システムを導入したことや、スポット利用(*)を新たに開始したこと等が上昇の要因と考えられる。 *スポット利用…保護者の突発的な事情に対応するため、A登録利用者がB登録と同様の時間を利用できる制度								
	4 (順調)									
施策コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		4,785,279千円	4,422,239千円	4,915,955千円	5,871,609千円					
事業費		3,858,034千円	3,612,208千円	3,927,794千円	4,864,691千円					
人件費		927,245千円	810,031千円	988,161千円	1,006,918千円					
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況／国・都の動向)										
◆放課後児童対策の一層の強化を図るため、こども家庭庁と文部科学省が連携し、予算・運用等の両面から集中的に取り組むべき対策として、「放課後児童対策パッケージ」(R5.12)をまとめた。										
◆都の「『未来の東京』戦略」(R3.3策定)において、放課後における児童の居場所の充実が必要であると、学童クラブの待機児童解消に向けた計画策定と環境整備を行う区市町村を支援することとした。										
◆国の「こどもの居場所づくりに関する指針」(R5.12.22策定)において、学校や児童館など既存の地域資源を柔軟に活用して居場所づくりを進めていくことが求められている。										
◆登下校時のこどもの安全確保のため、国は平成30年6月に「登下校防犯プラン」を策定した。										

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1		こどもが安全で健やかに過ごすことができる居場所の確保
主な取組		「江東区放課後こどもプラン」に基づく取り組みの推進、「児童館に関する運営方針」に基づく児童館の管理運営、こども食堂への支援の充実
取組内容		◆きッズクラブの保留児童解消に向け、校舎等の増設・改築時は、必要な育成室面積を確保する。 ◆児童館は中高生向けの「Teen'sCafe」などを全館で実施し、中高生の居場所の拡充を図るとともに、「児童館に関する運営方針」に基づいた管理運営を進めている。こども食堂に対する補助の充実やフードドライブ等の実施・寄付等の情報提供などにより、支援の充実を進めている。
主な実施事業		放課後子どもプラン事業、児童館管理運営事業
取組方針2		こどもの安全を確保する地域環境の創出
主な取組		こども110番の家事業の実施、地域との連携による通学路安全対策の実施
取組内容		◆緊急時の避難場所に適さないオートロックマンションの増加、戸建ての住民や個人経営者の店主の高齢化による辞退者の増加等により協力者が得にくい状況にあることから、区内中小企業等への協力者募集に努めるとともに、地域団体を通じて区民に対して事業周知を行い地域の防犯意識を高めている。 ◆学校・PTA・教育委員会・警察・道路管理者からなる「江東区通学路交通安全対策連絡会」を設置し、定期的に通学路の交通安全点検を行うことにより、危険個所の抽出及び対策の検討・実施、改善等を行う。
主な実施事業		こども110番の家事業、学校安全対策事業、児童交通安全事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	こどもが安全で健やかに過ごすことができる居場所の確保	主管部長(課)	教育委員会事務局次長(地域教育課)							
		関係部長(課)	こども未来部長(こども家庭支援課)							
「江東区放課後こどもプラン」に基づき、「江東きッズクラブ」の質的向上、効果的・効率的な仕組みづくりを推進するとともに、保留児童対策や活動場所の環境改善、地域との連携等に取り組みます。また、児童館においては、他の子育て関連施設等と連携しながら、発達段階に合わせたこどもの育ちの支援に取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東きッズクラブB登録を利用できなかった児童数		人	132	303	312	313	117	43	0	地域教育課
指標選定理由		B登録の利用を希望する全児童の受入体制の構築状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆マンション等宅地開発等や共働き家庭の増加などによる児童数の増加が続き、4年度までは保留児童数が増加していたが、4年度に大幅に定員数を増やしたことから、5年度保留児童数は減少し、6年度においても2クラブについて活動スペースの確保を行ったことから保留児童数は減少した。								
	2 (やや停滞)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算		
トータルコスト		4,517,546千円		4,186,503千円		4,668,881千円		5,613,958千円		
事業費		3,608,011千円		3,392,003千円		3,700,122千円		4,626,449千円		
人件費		909,535千円		794,500千円		968,759千円		987,509千円		
成果と課題										
◆定員超過によりB登録を利用できない児童の解消のため、5年度は、申込が定員を超過していた2クラブにおいて新たな活動スペースを確保するとともに、川南小学校内にB登録を新設し、6年度の入会可能数を247人増やした。引き続き活動スペースの確保を行い、保留児童の解消を図る。										
◆児童館については、子ども家庭支援センターと連携し、定期的な地域会議や合同イベントを実施した。また、こどもプラザや青少年交流プラザ等の行事に参加し積極的にPRを行った。										
◆児童館の中高生の利用を促進するため、近隣の中学校、高校にアンケートを行い実態調査を行った。中高生へのPR不足等の課題があり、中高生が利用しやすいよう検討を進める。										

取組方針2	こどもの安全を確保する地域環境の創出	主管部長(課)		地域振興部長(青少年課)						
		関係部長(課)		教育委員会事務局次長(庶務課)						
協力者確保のため、こども110番の家事業の周知に努めるとともに、実効性を高める方策や新たな協力形態について検討を進め、地域住民や事業者など地域ぐるみでこどもたちを犯罪から守る事業を推進します。また、登下校時の地域住民等による見守りや通学路防犯カメラの活用、警察などの関係機関との情報共有や安全点検により、通学路における児童の安全の確保に努めます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合		%	49.4	47.7	49.7	48.5	48.4		60	青少年課
指標選定理由		こどもの安全を確保する環境の構築に向けた区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆5年度末時点のこども110番の家の協力者数は、前年度と同数で、指標の値は0.1ポイント減少となった。小学校区ごとに作成している「こども110番の家マップ」は、学校を通じて区立小・中学校・義務教育学校の児童及び生徒に配布しているが、こどものいる世帯以外の区民には取り組みが認知されていないと分析できる。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		267,733千円	235,736千円	247,074千円	257,651千円					
事業費		250,023千円	220,205千円	227,672千円	238,242千円					
人件費		17,710千円	15,531千円	19,402千円	19,409千円					
成果と課題										
◆こども110番の家事業にかかる協力者数確保に向けて事業周知・協力依頼の取り組みとして、5年度は、児童・生徒に配布する青少年対策地区委員会広報誌において事業周知とともに、町会・青少年対策地区委員会、不動産事務所や整骨院等の店舗への協力者募集を行った。今後は、SNSなども積極的に活用し、事業周知を図るとともに協力者募集を行う。										
◇こどものいる世帯以外の区民に対し取り組みの周知を図るとともに、地域の協力体制の確保にもつなげていく。										
◆学校・PTA・教育委員会・警察・道路管理者からなる「江東区通学路交通安全対策連絡会」を設置し、定期的に通学路の交通安全点検を行うことにより、危険個所の抽出及び対策の検討・実施・改善等を行っている。										

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆平成30年4月に全46小学校・義務教育学校に江東きっずクラブの開設が完了し、また令和2年4月からは学童クラブも「江東きっずクラブ」に名称を変更し、64クラブとなった。児童数の増加により、特に小学校内クラブにおいてはスペースの確保が難しく、令和5年度に2クラブで保留児童の解消を図ったものの、引き続き定員超過等の課題がある。
今後の方向性	◆「江東区放課後子どもプラン(後期)」に基づき、江東きっずクラブの保留児童対策および質の向上を図ることで、効果的・効率的な江東きっずクラブの運営を推進していく。 ◆こども110番の家事業については、個人宅の協力者の減少傾向は続くと思込まれるため、引き続き店舗の協力者の増加に向けた取り組みを進める。 ◆「江東区通学路交通安全プログラム」に基づき、地域との連携体制を維持しながら、点検結果に基づく対策実施後の効果の確認や対策の改善・充実を図っていく。

5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策全体としては近年順調に推移しており、施策の進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
実現に向けた取り組み	◆定員超過等が課題となっている江東きっずクラブについて、地域と連携しながら既存の枠組みにとられない新たな方策等を検討し、引き続き保留児童の解消及びクラブの量的・質的向上に努める。 ◆児童館について、他の子育て施設等と連携・相互補完しながら、児童館の利用者層毎のニーズに合わせたサービスの拡充および、指定管理者制度導入の検討を進める。 ◆「こども110番の家事業」について、店舗や事業者による協力者の増加に向けた取り組みを進めるとともに、SNS等を活用して地域団体を通じてこどものいる世帯以外の区民への周知方法を検討する。